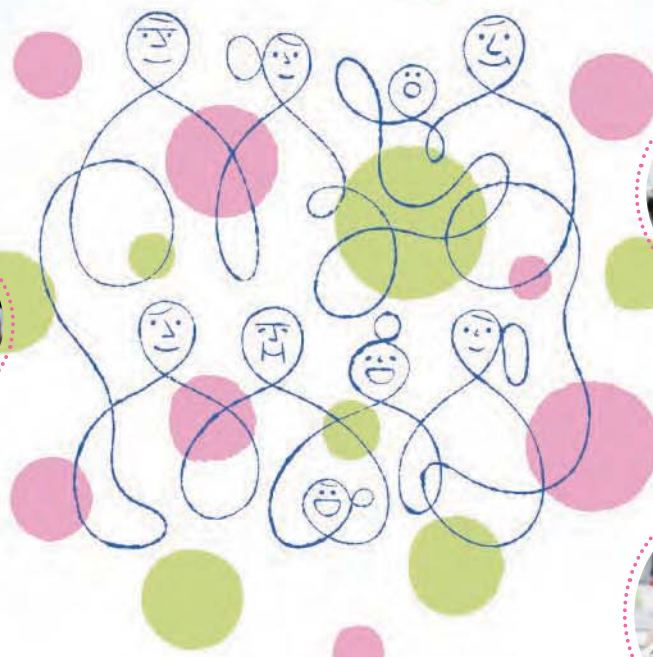


.....皆さまとおきぎんをつなぐ情報誌.....

沖縄銀行 ディスクロージャー誌

おきぎん 2016 情報編 レポート



おかげさまで60周年

これからもお客さまの未来のために

ピープルズバンク

① 沖縄銀行

沖縄銀行は、 創立60周年を迎えました。

私たち沖縄銀行は、1956年の創立以来、「地域密着・地域貢献」という経営理念のもと、地域に根ざした金融機関として地域経済の発展とともに成長し、今日の基盤を築き上げてまいりました。今年、創立60周年という節目を迎え、これまで永きにわたりご愛顧・ご支援いただきましたお客さまや地域の皆さま、そして株主の皆さまに深く感謝申し上げます。

沖縄では今、個人消費や建設関連が概ね堅調に推移していることに加え、観光関連においても国内外からの観光客の増加が継続するなど、県内景況の拡大が続いております。そのため、地域活性化に向けた成長分野への積極的な資金供給や、中小企業の経営改善・体質強化の支援など、地域金融機関に求められる役割はますます重要になってきております。

こうしたなか、昨年度より「中期経営計画 CHANGE FOR VALUE ～新たな価値創造の3年～」がスタートしました。本計画初年度である昨年度においては、お客さまに評価される「新たな価値」の創造に向けて、まずは足元をしっかりと改善していくことが重要だと考え、「お客さま目線」の業務革新に集中して取り組んでまいりました。2年目となる2016年度では、新たな業務プロセスの定着化により「お客さまの期待を満たす」ことを到達目標に、業務革新に継続して取り組んでまいります。

当行は、これからも役職員一丸となり、常にお客さまの期待に応え、さらなる経営内容の充実やサービス向上に努めてまいります。そして、地域社会に愛され、親しまれる「ピープルズバンク」としてあり続けたいと思います。

取締役頭取

玉城 義昭



経営理念

地域密着・地域貢献

めざす銀行像

PEOPLE'S BANK

県民に一番愛される銀行

CONTENTS

2 【60周年特集】 県民と共に歩んだ おきぎんの軌跡

8 【地域活性化の取り組み】 おきぎんの地方創生

22 【商品・サービス】 お客さま目線の 新たな価値創造

24 【CSRの取り組み】 美ら島のために、できること

26 【経営戦略】 中期経営計画

28 【平成28年3月期】 業績ハイライト(単体)

皆さまと沖縄銀行をつなぐ情報誌「おきぎんレポート」(ディスクロージャー誌)では、当行の取り組みとともに、沖縄の「今」をお伝えします。ぜひ、ご覧ください。

平成28年3月期の詳細な財務データなどは、「ディスクロージャー誌2016(資料編)」をご覧ください。



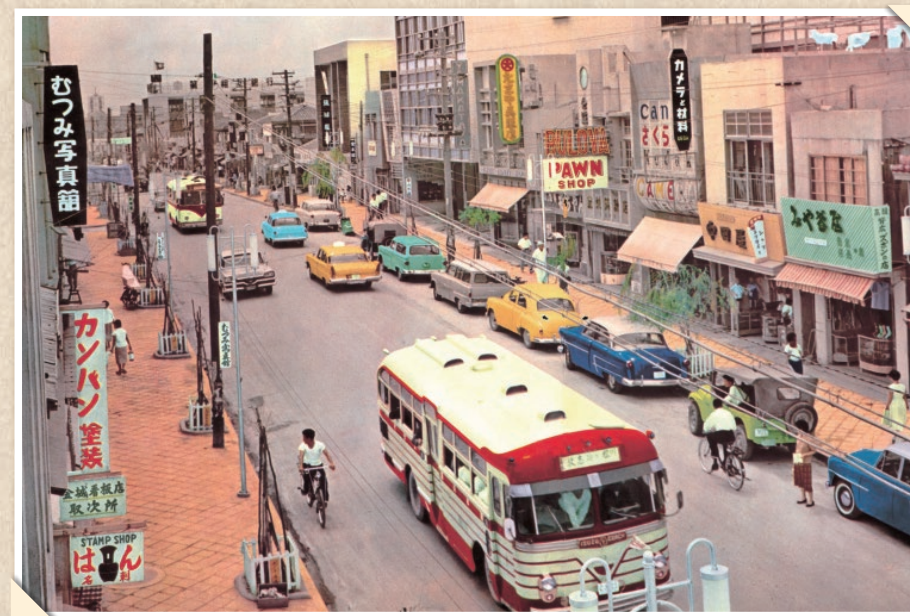
沖縄銀行 設立
創立当時の本店
(那覇市久茂地/現・本店所在地)

県民と共に歩んだ おきぎんの軌跡

1956

戦後、激動の時代を駆け抜けて、地域と共に発展を続け、創立60周年を迎えた沖縄銀行。その軌跡を辿ります。

1956年、沖縄銀行は県内初の市中銀行として誕生しました。「親しみやすい銀行、郷土の発展に貢献する銀行」を創業精神とし、本店・牧志支店を合わせて114名での船出となりました。本店は、ビル1階全と2階の1部を賃借して営業が開始され、当時は米国民政府統治下であったため、看板には「THE BANK OF OKINAWA」と英語表記で大きく掲げられていました。このように船出を切った当行は、復興から発展へと成長が続く沖縄社会のなかで、沖縄の中枢金融機関として、県民に寄り添い、「地域密着・地域貢献」という経営理念を実践してきました。そして、1972年。本土復帰の際には、通貨確認や通貨交換など、地域社会における大きな役割を果たし、その後もサービス・利便性の向上に率先して取り組み、沖縄の発展に貢献しました。



米商工会議所が当行に3,000ドルの預金口座を開設



1959

モーニングスターより
那覇市歴史博物館所蔵



東京・日本橋に東京支店を開設

キャッシュ・ディスペンサー機を
県内で初めて設置

本土復帰

通貨交換(米ドルから日本円へ)

1972



通貨交換事務を行う
本店営業部窓口

1974



1976

オンラインシステムへ移行



オンライン移行1号店・牧志支店での始動式

1950年代後半の国際通り

那覇市の国際通り。「奇跡の1マイル」と呼ばれ、沖縄の政治・経済の大動脈として発展を遂げ、当時は米国製車両が列を成し、沿道は賑わいました。



新本店が完成
創立25周年の象徴として新築された新本店(地上6階・地下1階建)

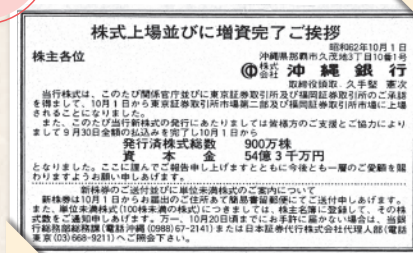
1983

さらなる飛躍をめざす 新たな時代へ

本土復帰後も地域とともに発展を続けた沖縄銀行は、1983年、創立25周年の象徴として待望の新本店を完成させ、新たな時代を迎えました。東京証券取引所 第二部、福岡証券取引所への株式上場を皮切りに、商品・サービスのさらなる拡充を進め、急速に進むIT化など、社会環境の変化に柔軟に対応して、お客さま満足の向上に努めました。その結果、県民の皆さまのご支援もあり、当行は2006年に創立50周年という節目の年を迎えることができました。その後も、沖縄が直面するさまざまな課題の解決への貢献やニーズへの対応を通して、地域活性化を図り、さらなる飛躍をめざしています。

1987

東京証券取引所 第二部・
福岡証券取引所に上場
(1989年 東京証券取引所 第一部に上場)



新聞に掲載された上場公告



1996

ホームページを開設

2002



新体制(安里頭取(現会長))で、
新世紀第1次中期経営計画がスタート

2006

創立50周年

2006年10月、国際通りで行われた那覇大綱挽まつり。各種サークル・地域団体などにより、「市民演芸・民族伝統芸能パレード」が催され、沿道は多くの人で賑わいました。世界一の大綱挽も行われ、そこでは当行創立50周年が盛大に祝われました。

2007



インターネット専用
「美ら島支店」を開設

2011

玉城頭取が就任



那覇大綱挽まつり



「ココロつながるプロジェクト」
CM撮影時の行員たち

おかげさまで60周年 2016

これからもお客さまの未来のために

沖縄銀行は本年7月、おかげさまで創立60周年を迎えることができました。全国各地で地域社会の衰退が見られるなか、これからも沖縄がもっと元気になるように、60周年記念事業や地方創生をはじめとするさまざまな取り組みを行っていきます。また、年齢・性別・国籍・障がいの有無に関わらず、当行を快適にご利用いただける地域密着のピープルズバンクをめざします。これからも、おきぎんにご期待ください！



障がいのある人もない人も全ての県民が等しく地域社会の一員として、あらゆる分野に参加できる共生社会の実現をめざし、「沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例」が2014年に施行されました。「ココロつながるプロジェクト」は、多くの県民の皆さまにこの条例をお伝えし、その達成に向けて参加を呼びかけるプロジェクトです。当行もこのプロジェクトに参加し、CMなどでその普及に努めています。

当行行員が出演したCMはこちら！ ▶ <http://www.okinawa-bank.co.jp/cm/>



記念公演

2016年2月、浦添市てだこホールで、「三遊亭円楽・三遊亭小遊三二人会」を開催し、それぞれが古典落語で聴衆を沸かせました。



制作発表会

イメージソングを制作

沖縄を代表するアーティストのBEGINに、おきぎんイメージソング「苗」を制作していただきました。「3つの苗をそれぞれの家族が愛情をもって育てていく」という内容の歌詞は、当行の県民の皆さまへの想いを表しています。



記念イベント

泡盛48銘柄の一石甕仕次ぎ式を、当行本店で開催しました。式典では、県内全ての酒造所48銘柄の泡盛が、創立50周年記念事業でつくられた一石甕に注ぎ込まれました。



60周年
オリジナルデザイン
「楽天Edyカード」

記念キャンペーン

60周年を記念して、「預金ありがとうキャンペーン」など各種キャンペーンを実施しました。お申し込みいただいた方には、チャージして何度も使える「楽天Edyカード」などがプレゼントされました。



県内
地銀初

©SoftBank Robotics Corp.

Pepperがおきぎんへ入り

ソフトバンクロボティクスが開発・提供する世界初の感情認識人型ロボット「Pepper」3名(結丸・おっきー・おきまる)が入行し、本店営業部などで、ロビーアシスタントとしてお客さまをお迎えしています！

ソフトバンクロボティクスが提供するPepperを活用し、自行で独自に実施しているものです。

©1976, 2016 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G563409

◆ 60周年記念事業 ◆



「おきぎん キキ&ララ号」出発式

車両ラッピング

イメージキャラクター「リトルツインスターズ」(愛称:キキ&ララ)でデザインしたゆいレールラッピング車両「おきぎん キキ&ララ号」が運行し、観光立県沖縄のイメージアップを図りました。

おきぎんの 地方創生

人口減少・少子高齢化が進むなか、地域経済の活性化と雇用機会の創出を目指し、政府が重要課題と位置づける「地方創生」。沖縄でも、官民連携でさまざまな施策が進められています。急速な変化が続く社会のなかで、未来への想いを抱き、地域の課題解決やニーズへの対応を通じ、沖縄の活性化に取り組み続ける。そんな私たち沖縄銀行の地方創生をご紹介します。

▶ P10 地域と世代をつなぐ
おきぎん後継者塾

▶ P12 沖縄の魅力を、県外ファンとともに
クラウドファンディング

▶ P16 つながりをもっと強く
アジアとの架け橋に

▶ P20 長寿日本一復活へ
健康応援BANK

Topics



当行頭取・玉城と那覇市長・城間氏

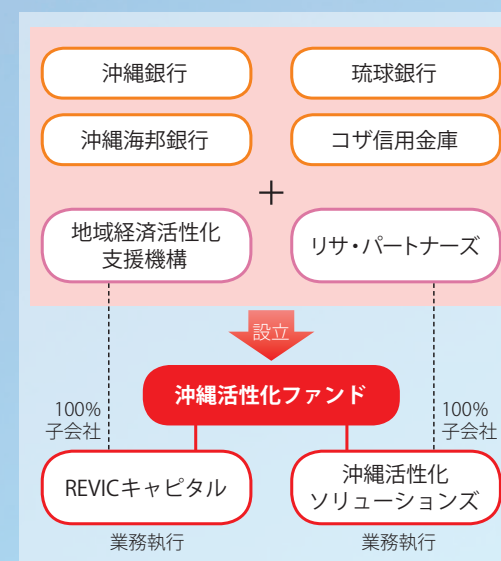
那覇市と
協定締結

地方創生に関する包括連携協定を締結

地方創生に関する連携を緊密にするため、2016年1月、当行は那覇市と包括連携協定を結びました。営業店や本部、グループ会社为一体となり、当行のコンサルティング機能を発揮して、地域の特性に合った地方創生支援を強化していきます。

那覇市との連携内容

- ① 地域の人材育成に関すること
- ② 協働によるまちづくりの推進に関すること
- ③ 安全・安心・快適なまちづくりに関すること
- ④ 産業振興に関すること
- ⑤ その他、本協定の目的を達成するために必要と認められる事項に関すること



沖縄活性化ファンドの組成

地域経済活性化の取り組みの一環として、沖縄県内4金融機関と地域経済活性化支援機構およびリサ・パートナーズは、「沖縄活性化ファンド」を設立しました。本ファンドの業務執行は、REVICキャピタル(地域経済活性化支援機構の子会社)と沖縄活性化ソリューションズ(リサ・パートナーズの子会社)が担い、両社の豊富なノウハウと人材を最大限に活用することで、沖縄県内に主要事業基盤を有する中堅・中小事業者や新規参入事業者に対する投融資、経営支援などを行っていきます。

地方創生支援チームの新設

2015年10月、地方創生に向けた取り組みを一層強化するため、当行は法人部に「地方創生支援チーム」を設置しました。各地域の特色を活かしながら、コンサルティング機能を発揮して、「地方版総合戦略」の策定協力、国の総合戦略や地方版総合戦略の推進に向けた協力、地域における金融機能の高度化などに取り組んでいます。



地域と世代をつなぐ

おきぎん後継者塾

沖縄の中小企業の
後継者不在率

80%以上



沖縄銀行への
事業承継・M&Aの
ご相談件数(年間)

100件以上



沖縄県の中小企業の後継者不在率は、全国で唯一80%を超えており、お取引先企業のオーナーさまから寄せられる事業承継やM&Aに関する相談は、増加傾向にあります。こうした課題に応えていくため、沖縄銀行は「おきぎん後継者塾」を毎年開催しており、2015年度で7回目となりました。本塾は、後継予定者・若手経営者・経営幹部の皆さまを対象とし、中小企業経営者として必要な知識やノウハウの習得、同世代経営者間のネットワークの構築を目的に、地元の専門家組織であるTKC沖縄支部と連携して、少人数のグループワーク中心の講義・講習を行っています。講師陣・受講生同士の交流が活発で、県内で活躍する税理士や当行による地域密着型サポートも徹底しています。当行は、今後も後継者不足問題に継続して取り組み、地域と世代をつなぐお手伝いを通じ、沖縄の未来を育んでいきます。

後継者不足問題の解決は、おきぎんがサポートします！

「M&Aシニアエキスパート」による支援

M&A(第三者への事業引継ぎ)に精通した人材養成のために創設された専門資格「M&Aシニアエキスパート」(一般社団法人 金融財政事情研究所 認定)。当行行員の有資格者数は60名と、全国の銀行において1位となっています(沖縄県内認定者128名、全国認定者1,255名*)。近年、県内におけるM&Aによる事業承継は活発で、当行には事業承継・M&A関連の相談が年間150件ほど寄せられ、支援実績も豊富です。今後も引き続き、これまで培った専門ノウハウを活用し、県内における友好的なM&Aをサポートします。

※2016年3月現在



法人部 事業承継支援チーム
新垣 雄之 糸村 昌史



M&Aシニアエキスパート 合格証書授与式

おきぎんは
事業承継のエキスパート



M & A 専門資格の有資格者数

サポート事例

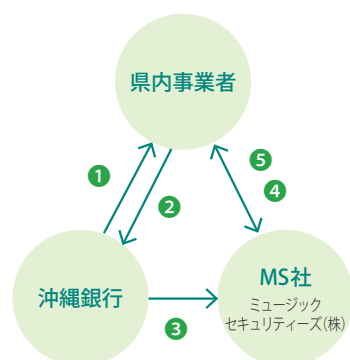
国際ビル産業による事業引継ぎ

当行は、沖縄県事業引継ぎ支援センターと連携し、株式会社アーバンスペースと株式会社国際ビル産業の事業引継ぎ(M&A)へのサポートを行いました。アーバンスペースが、将来への確実な事業の承継を図るため、その方法を模索しているなか、国際ビル産業は、隣接業界への進出で事業規模の拡大を検討していました。当行が双方のニーズを把握し、仲介的な役割を果たすことで、円滑な事業引継ぎ(M&A)が実現しました。

沖縄の魅力を、県外ファンとともに

クラウドファンディング

マイクロ投資サービス
「セキュリテ」のご紹介の流れ



- 1 当行が「セキュリテ」を紹介
- 2 県内事業者が「セキュリテ」利用を希望
- 3 当行が県内事業者を紹介
- 4 MS社がファンド組成を検討
- 5 ファンド組成

沖縄銀行は、お客さまへの新たな資金調達手段の提供や販路の拡大支援をするため、マイクロ投資ファンドの組成・運営を行うミュージックセキュリティーズ株式会社(MS社)と業務提携を結んでいます。この提携により、県内事業者さまに、MS社が運営するマイクロ投資サービス「セキュリテ」を紹介し、事業を通じたファン創りや、新たな資金調達手段の提供を行っています。当行は、政府の「日本再生戦略」にもとづき推進されるクラウドファンディングなどによる「ふるさと投資」を通して、県内事業者さまの積極的な成長支援に取り組んでいます。

○マイクロ投資サービス「セキュリテ」

地域の事業者さまが個別にファンドを組成し、事業資金などを個人投資家から小口で資金調達するための仕組み

○クラウドファンディング

新規・成長企業と投資家をインターネット上で結びつけ、多数の投資家から小額ずつ資金を集める仕組み

ふるさと投資

地方創生の取り組みなど、地域活性化を支えるさまざまな事業に対する、クラウドファンディングなどの手法を用いた小口投資です。資金の大都市から地方への流れ、地域内での循環、住民による直接的な資金提供の仕組みであり、地域資源の活用・ブランド化などによる、特色ある地域経済の活性化を目的としています。



都市から資金流入 91%

地域内循環 9%

関西 15%

関東 51%

中部 10%

クラウドファンディング

活用事例 1



熟成によって生まれる麺の旨みとコシが自慢の香ネギそば(手前)とV3そば(後ろ)



もとぶ熟成麺

沖縄そばファンド

全国へ羽ばたく沖縄そばづくり

私は以前、香川県の高松で讃岐うどんの製麺や飲食店経営を行っていました。11年前に沖縄に戻り、「讃岐うどんの製造方法」を生かした沖縄そばづくりができないかと、試行錯誤しながら研究を続け、その答えにようやく辿りつきました。そんなときに当ファンドを知り、その組成・運営を行うMS社と提携を結ぶ沖縄銀行を紹介していただきました。そこで、開店費用や製麺所(工場)の立ち上げ費用などを募集するため、当ファンドの利用を決め、沖縄銀行の支援も後押しし、昨年9月に製麺所が完成しました。肝心な商品ですが、「讃岐うどんの製造方法」を生かしてつくる自慢の自家製麺は、熟成によって生まれる旨みとコシが高く評価されています。当社が運営する「沖縄そば処 もとぶ熟成麺」の看板メニューである「香ネギそば」は、グルメコンクールでも入選し、召し上がっていただいた方から絶賛されています。また、沖縄そばの製麺事業は、東京や千葉など県外への出荷も着実に増えており、全国のより多くの人に、おいしい沖縄そばをお届けしていきたいと思っています。



(株)アルマリゾート 代表取締役
棚原 憲勇氏

店舗概要

沖縄そば処 もとぶ熟成麺

【住所】沖縄県豊見城市瀬長174-6
瀬長島ウミカジテラス内

【電話】098-987-4554

もとぶ熟成麺 沖縄そばファンド 概要

募集金額	1,497万円
1口金額	31,710円
募集期間	2015年3月27日～2016年6月30日
資金使途	飲食店設備、開店費用、販売促進費、製麺設備など

分配方法	決算日から60日を超えない日から随時引き出し可能
特典	1口につき7,500円相当(口数により特典は変わります) ・「沖縄そば」もしくは「もとぶ香ネギそばセット(4食入)」を期間中2回送付:6,000円相当(送料込) ・営業者飲食店の食事券2食分:1,500円相当



老麴 山清水仕込「松藤」
崎山酒造廠の主力商品



崎山酒造廠の工場



熟成中の泡盛古酒

明治38年創業
崎山酒造廠



(有)崎山酒造廠 代表者
崎山 和章氏

蔵元概要

崎山酒造廠

【住所】沖縄県国頭郡金武町字伊芸751

【電話】098-968-2417

【Web】<http://sakiyamashuzo.jp>

泡盛古酒ファンド

ファンづくりの新しいカタチ

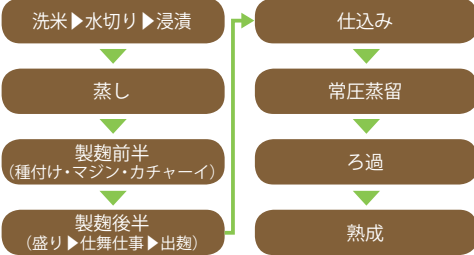
沖縄銀行に普段から全面的に支援していただいているなかで、当ファンドをご紹介いただきました。利用を決めたのは、主力商品である泡盛古酒を造るには相当の期間が必要で、そのための工程の資金繰りと、商品化までのプロセスでかかる人件費、瓶やパッケージなどの費用の支援を求めているからです。また、泡盛業界が落ち込んでいる今、県内外を問わず新たなファンの輪を広げていきたかったことも理由のひとつです。出資者とは、工場見学やイベントなどを通して交流でき、それを通じて私たち崎山酒造廠のファンになっていただく。出資理由の多くは、収益をあげるのではなく、応援目的になっており、このような支援に感謝して、明治の創業時より受け継ぐ古き良き伝統や技術を次世代につなげ、新しい試みにも挑戦していかなければなりません。そのため、人材育成や未来を拓く研究活動には力を入れており、女性社員も活躍できる会社づくりに取り組んでいます。今後は、海外展開や酒離れの進む若い方へのアプローチをさらに進め、さらなるファンの獲得を目指します。



2015泡盛鑑評会 2年連続 最高賞受賞

長年の歴史を通じて培った技術力は、確かな品質を生み出し、崎山酒造廠の泡盛は鑑評会などで高い評価を受けています。フラッグシップとなる「松藤 44度7年古酒」は、沖縄最高の権威「泡盛鑑評会 古酒の部」で、最優秀賞である「県知事賞」を2014・2015年の2年連続で受賞しました。

教えて！ 泡盛古酒の製造工程



琉球王朝時代の造りを受け継ぐ崎山酒造廠の泡盛は、上記の工程を経て、手間隙かけてじっくりと造られています。こだわりは、恩納岳の豊かな自然を水源とする、沖縄では珍しい軟水の良質な伏流水を使用していることです。また、時間をかけて造った三日麹は、長期貯蔵にも耐え得る深みと、コクのある原酒を造ります。こうした水と麹へのこだわりが、良質な泡盛を造りあげます。



製麹前半の様子
蒸し上がった米を冷やし、種麹を付け、米麹を造っていきます。米の一粒一粒に黒麹菌を均等に根付かせるため、麹全体に空気が行きわたるよう三角棚の屋根を開き、職人総出で攪拌作業を行います。

■ 崎山酒造廠 の取り組み ■

泡盛メーカーの抱える課題

- 1 県外個人ファンの獲得
収益率改善を目的とした県外への販売比率・個人への直接販売比率向上の取り組み
- 2 長期かつリスクマネー（業績に連動して返済額が決まる資金）の調達
2015年8月からの泡盛古酒表示100%への変更義務化に伴い、回収が数年後になる資金が増加することへの対応

泡盛古酒ファンドの特徴

- 1 県外からの高い注目度
▶ 平均約92%は県外からの資金
- 2 出資する理由で収益目的は1%
・泡盛業界や酒蔵・経営者を応援する目的が約70%
▶ 出資後は消費者になり、商品を購入する可能性

■ 崎山酒造廠 泡盛古酒ファンド2015 概要

募集金額	1,680万円
1口金額	2万円
募集期間	2015年2月27日～8月31日
運営期間	2015年7月1日～2020年6月30日(5年間)
資金使途	2015年に仕込み、2018年に販売を開始する「3年古酒」「もろみ酢」に必要なタイ米、瓶・ラベル費用など

分配方法	・「3年古酒」「泡盛もろみ酢」の販売上の一部を、分配金として分配 ・販売が予定通り行われず、分配金が出資金を下回った場合は、現物商品を分配
特典	①「松藤3年古酒30度(720ml)」 「泡盛もろみ酢 黒糖入り(720ml)」 5,000円相当(送料込) ② 崎山酒造廠での蔵見学会やBBQ交流会、東京での蔵元交流会

おきぎんの 地方創生

つながりをもっと強く

アジアとの 架け橋に



アジアの主要都市の多くが飛行4時間圏内にあり、東アジアの中心に位置する沖縄。国際物流拠点として機能する付加価値の高い輸送インフラを背景に、ますますそのポテンシャルは高まっています。こうしたなか、県内企業の海外進出をサポートし、アジアとのつながりを強化する沖縄銀行の取り組みをご紹介します。

国際ビジネス支援チームの新設

当行は、2015年10月、国際ビジネス支援に向けた取り組みを一層強化するため、法人部に「国際ビジネス支援チーム」を設置しました。これにより、県内企業のインバウンド事業やアウトバウンド事業に対して、営業店と証券国際部が一体となり、当行のコンサルティング機能を発揮して、沖縄の特性に合った国際ビジネス支援を強化しています。

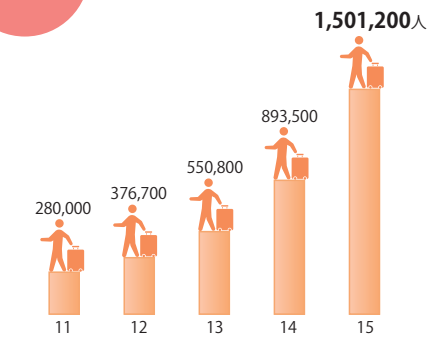
支援事例 ▶ P18-19

インターネットから始める 海外市場開拓セミナーを開催

国際物流拠点として整備が進んだ沖縄では、中堅・中小企業の海外市場開拓が急務となっています。そこで、当行・アリババ株式会社・琉球銀行は、2016年3月に「インターネットから始める海外市場開拓セミナー」を開催。「海外売上拡大を目指す経営者が押さえておくべき要因」「インターネットを通じた海外販売チャネルの活用手法」「利用企業事例から導き出される成功のポイント」について紹介しました。

インバウンド
【海外▶沖縄】

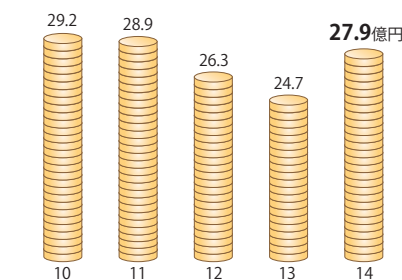
沖縄への外国人観光客数*



※平成23～27年 沖縄県入域観光客統計概況より

アウトバウンド
【沖縄▶海外】

沖縄からの輸出額(食品)*



※沖縄からの輸出の状況と取組
平成27年3月 沖縄総合事務局農林水産部より



外国人観光客の
利便性も向上！

那覇クルーズターミナルに セブン銀行と共同でATMを設置！

昨年、那覇港には外国船社が運航するクルーズ船が105回寄港しており、全国で3番目に寄港の多い港湾となっています。このような背景により、当行は株式会社セブン銀行、那覇港管理組合の協力のもと、海外カード対応ATMを設置しました。このATMは、海外で発行されたクレジットカードやキャッシュカードで「日本円」を引き出すことができ、特にクレジットカードでのお引き出しは、世界10種類のカードに対応しています。

旅行も、出張も、もっと便利に

取扱通貨は全9種類！

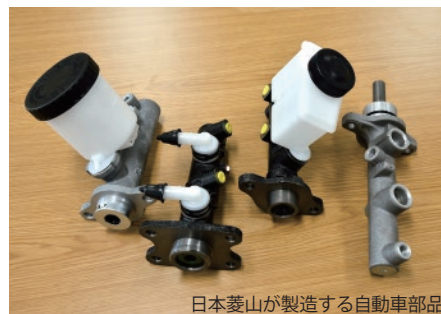
県内地銀初！アジア7通貨の販売開始

海外航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数が増えるなか、旅行や出張などで沖縄からアジアへ渡航する人も増加し、外貨両替の機会も多くなっています。こうしたニーズに応え、お客さまの利便性向上を図るため、県内地銀で初めてアジア7通貨(中国人民元・香港ドル・台湾ドル・韓国ウォン・シンガポールドル・タイバーツ・オーストラリアドル)の販売を開始しました。また、海外からのお客さまのご要望にお応えし、那覇空港国内線ターミナル・那覇クルーズターミナル・とまりんに設置している外貨両替機の営業時間を延長しました。今後もお客さまのニーズにお応えし、サービスを拡充していきます。





インバウンド
【海外▶沖縄】



日本菱山が製造する自動車部品

会社概要

日本菱山(株)

【代表者】林 武璋

【事業概要】自動車部品の製造

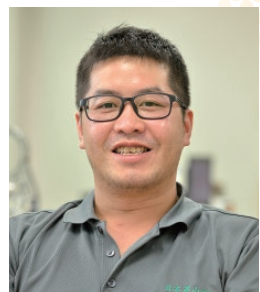
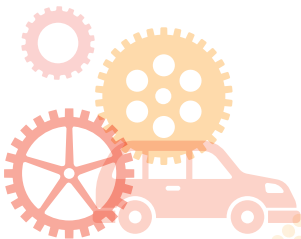
【販売地域】国内、東南アジア・中東・北米・ヨーロッパ
など、世界20カ国以上に拡大予定

【住所】沖縄県うるま市勝連南風原5192-32
(国際物流拠点産業集積地域内)

【電話】098-989-1966

工場での製造の様子

世界から認められる Made in Japanブランドへ



日本菱山(株) 工場長
林 承佑氏

当社は、自動車の油圧ブレーキやクラッチシステムなどを製造しており、2016年4月に台湾から現在のうるま市・経済特区に進出しました。進出のきっかけは、沖縄県の企業誘致活動でした。当社は、以前から日本進出を検討していましたが、その目的は、日本の最先端技術を導入することにより、より質の高い製品を製造すること、各種FTA(自由貿易協定)やEPA(経済連携協定)を活用することでした。進出にあたっては、沖縄銀行より多大なるご支援をいただきました。口座開設をはじめ、現地法人設立に関する司法書士や行政書士の専門家の紹介、経済特区進出のための沖縄県への申請手続き、物流や通関などの事業実現可能性の検証など、非常に大きな助けとなりました。工場はまだ稼働したばかりですが、出荷先は東南アジア・中東・北米・ヨーロッパなど、世界20カ国以上へと拡大していく予定です。世界は今、コスト競争に陥っていますが、私たちは付加価値で勝負したいと考えています。これから、当社の信用力をさらに高め、Made in Japanブランドを確立し、事業拡大に努めていきたいと思っています。



アウトバウンド
【沖縄▶海外】



会社概要

(合)琉宴

【代表者】屋良 朝樹

【事業概要】外食事業
国内：居酒屋「琉宴」
海外：寿司店「鮨政(Sushi Masa)」
ラーメン店「黒龍(Kokuryu)」

【出店地域】日本、香港(さらなる海外展開を計画中)

【住所】沖縄県那覇市牧志1-4-59

地に足をつけたビジネスで さらなる海外展開を



(合)琉宴
屋良 朝樹氏

私は元々、香港で10年ほど仕事をしていました。そのため、現地に知人も多く、香港人気質などにも詳しくあったため、それが香港への進出につながりました。進出において、沖縄銀行の支援は必要不可欠でした。融資のほか、現地の飲食店の動向、出店場所の実査、マーケティングや事業実現可能性の検証など、さまざまなサポートをしていただき、今日の盛況につながっています。香港には、日本ではできないビジネスドリームがあります。沖縄で出店するよりも5倍の投資金がかかりますが、約1年半での回収が見込めます。しかしながら、他国での事業には苦労も多く、同業他社を含め多くの企業がこれまで進出してきましたが、95%は撤退しています。それを見ていると、やはり香港の卸業者などをあてにするのではなく、現地に頻りに足を運び、スタッフを派遣するなど、地に足をつけたビジネスが重要だと感じています。これを教訓に、今後は台湾や中国(上海)、アメリカ(ニューヨーク)など、さらなる海外展開を図りたいと思っています。



人事部健康相談室 保健師
上原 明美

ご存知ですか？沖縄県民の健康のこと。

以前は長寿日本一を誇っていた沖縄県。現在は、男女ともに平均寿命は全国で順位を下げています。これは、県民の皆さまの生活習慣や食習慣が大きく関係していると考えられ、死因の割合では生活習慣病によるものが全体の約50%に上り、メタボリック該当者・予備軍も、残念ながら全国ワースト1位となっています。こうした背景により、沖縄銀行は「長寿日本一復活キャンペーン」を実施し、県民の皆さま、そして当行役職員の健康づくりに取り組んでいます。健康は元気な沖縄の資源です。共に長寿日本一復活をめざしましょう！

健康は元気な沖縄の資源

長寿日本一 復活へ



大道支店
仲村 健汰

おきぎんの 長寿日本一 復活キャンペーン

健康意識・
肥満率の
改善

健康ウォーク



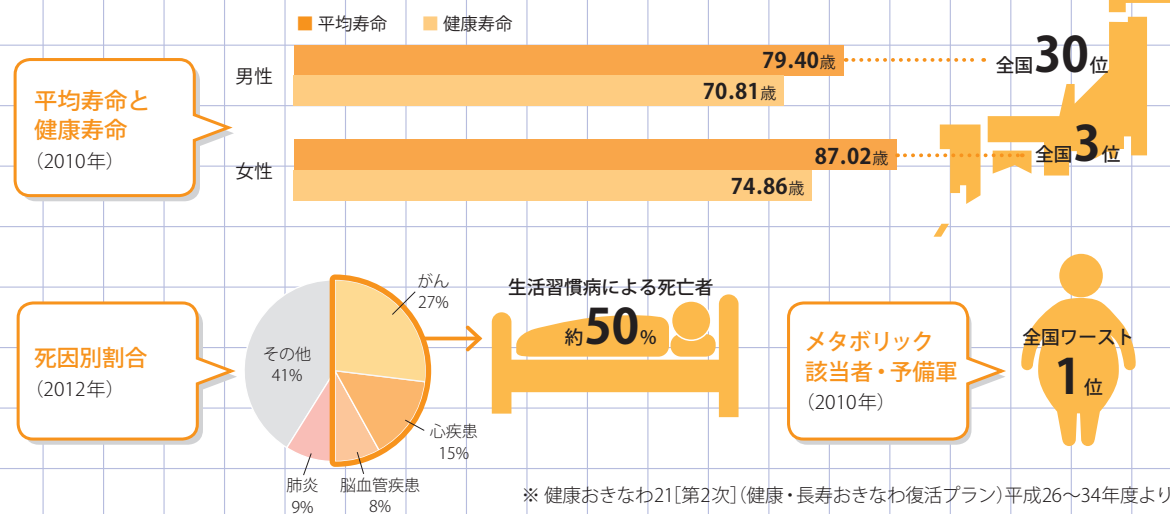
健康ウォークマップ



「健康ウォーキング大会」に参加

当行は全役職員の健全なライフスタイルの確立に向けて、「健康ウォークマップ」による健康増進に取り組んでいます。「健康ウォークマップ」とは、各自が1日1万歩、6カ月間で180万歩をめざし、運動習慣と健康習慣の改善を図るものです。これまで、バーチャルマップ上で「おきなわ本島縦断」「日本一周」を完歩し、現在は「ポルトガル」を全役職員で歩いています。また、那覇医師会が主催する「健康ウォーキング大会」にも参加し、健康意識の改善とメタボリック対策に努めています。

数字で見る 沖縄県民の健康



健康づくりの
普及・啓発

スポーツイベントに協賛

県民の健康づくりの普及・啓発のため、当行は沖縄県ママさんバレーボール連盟などが主催する「おきぎんカトレアカップ九州ママさんバレーボール優勝大会沖縄県予選会」や「おきなわマラソン」への特別協賛を行っています。



当行員も「おきなわマラソン」に参加

健康増進で
金利優遇

がんじゅう割引対応

当行は、個人ローン金利優遇サービス「がんじゅう割引」を実施しています。これは、県内外のマラソン大会やウォーキング大会などの完走証・完歩証を窓口にご持参いただくと、対象ローンのお借入金利を割引くサービスです。

健康増進活動で
店頭金利から

-1.00%
優遇!

詳しくは窓口までお気軽にお問い合わせください。

お客さま目線の新たな価値創造

沖縄銀行では、中期経営計画に掲げた「お客さま目線の新たな価値創造」の実現をめざし、最優先事項である「お客さま満足」と「従業員満足」の向上への取り組みを進めています。

お客さま満足の向上

県内
金融機関初

マネーフォワードオフィシャルアカウントを開設

金融機関とのお客さまを取り巻く環境は、モバイルシフトが進み、従来の対面での接客中心では、若年層との接点を生み出しにくくなりつつあります。また、ソーシャルメディアでのコミュニケーションが勢いを増し、メールマガジンなどでは顧客に情報を届けることが難しくなっています。このようななか、当行は株式会社マネーフォワードが提供する自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」(アプリ・Web)に、沖縄の金融機関として初めてオフィシャルアカウントを開設しました。オフィシャルアカウントでは、当行からのお知らせが時系列で掲載されるタイムラインや、当行が提供するアプリやWebサイトへの導線となるダイレクトリンクなどを設置します。これからの、当行は高度な技術の活用により、付加価値の高いサービスの提供に努めていきます。



マネーフォワードとは？

マネーフォワードは、350万人以上が利用する人気の自動家計簿・資産管理サービス(アプリ・Web)です。連携対応サービス数は2,580以上で、銀行口座やクレジットカードなどを連携すると、自動で家計簿が作成でき、収入や支出情報などが簡単に確認できます。資産残高や残高推移もひと目でわかるので、資産管理にもご利用いただけます。

お客さまの
利便性向上

全国約47,400台のコンビニATMがご利用可能に

2016年7月より、コンビニATMの利用提携を開始しました。これにより、当行のキャッシュカードをお持ちのお客さまは「お引出し」「お預入れ」「残高照会」のサービスを、全国のコンビニ(ファミリーマートや

ローソンなど)や商業施設、空港・駅などに設置されている約24,800台のATMでご利用いただけます。また、すでに提携しているセブン銀行ATM(約22,600台)と合わせると、全国約47,400台でご利用可能です。

従業員満足の向上

県内地銀初

顔認証機能搭載 タブレット端末を導入

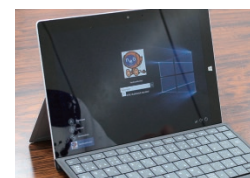
当行は、ITを活用した「事務の効率化」に取り組んでおり、企業係、渉外係、融資・相談係向けに750台のタブレット端末を導入しました。このタブレットには、現在、最も高度なセキュリティといわれている顔認証ソフトが搭載されています。行員がタブレットの内蔵カメラに顔を向けるだけで瞬時にログオンできるため、なりすましや不正利用を防止して、情報漏洩リスクを低減でき、外出先でも安心して利用できます。さらに、セキュアブラウザと仮想デスクトップも導入し、タブレットにデータを残さず行内システムの利用が可能です。また、当行はタブレットによる金融商品の販売や個人ローンの申込受付の運用を開始しています。今後も、住所や氏名変更などの「諸届け業務」や財務診断などの「経営支援システム」、行員向けの「研修システム」など、タブレットによる業務を順次拡大していきます。

タブレット端末で
事務の効率が
向上！

総合企画部 秘書室
下地 野乃香



顔認証
セキュリティソフト
利用のイメージ



① 認証前の画面



② 認証中



③ 認証後

女性行員の
活躍を支援

女性活躍推進法に基づく 一般事業主行動計画の策定

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)に基づき、女性が活躍できる職場環境のさらなる整備に向けて行動計画を策定し、右記の事項を推進しています。これからも、全ての職員がその能力を十分に発揮できるよう、さまざまな取り組みを行っていきます。

課題

管理職に占める
女性職員の
割合が低い

目標

管理職に占める女性職員の割合
20%以上に拡大

主な取り組み

- 女性特有のライフイベント(出産・育児など)を考慮した人事考課
- キャリアプラン研修を継続実施し、女性を含めた職員の昇格・昇進意欲を向上



地域社会への貢献

美ら島のために、できること

沖縄銀行は、健康・環境・教育・福祉・文化への取り組みを通じて、地域社会に貢献していきます。

司法試験の合格支援！ 「リーガルアシスタント制度」

当行は、地域・社会貢献活動の一環として、司法試験挑戦中の琉球大学法科大学院の修了生を嘱託職員として採用し、受験勉強を応援する「リーガル・アシスタント制度」を設けています。2015年9月の合格発表で、当行の支援制度を利用した2名が司法試験に合格しました。今後も、修了生の受験支援を継続し、地域社会に貢献していきます。

支援制度利用者の合格者数

12名

(18名が制度を利用)

2008年	1名
2010年	1名
2011年	2名
2012年	1名
2013年	2名
2014年	3名
2015年	2名



郷原 隆さん

沖縄での恵まれた学習環境が、 司法試験の合格を後押ししてくれました。

私は、今回3回目の受験で司法試験に合格することができました。昨年不合格になった後も、沖縄で司法試験の勉強を続けたいと望んでいましたが、書籍代や受験費に加え、日々の生活費など経済的負担が大きくなり、リーガルアシスタント制度がなければ私の望みは叶いませんでした。今回、この制度のおかげで、沖縄の恵まれた学習環境で勉強を続けることができ、また、リーガルアシスタントとして働くことで、知識を銀行法務にどのように活かせば良いのか、身をもって学ぶことができました。大変貴重な経験を積ませていただき、沖縄銀行の皆さまには心から感謝しています。

合格者談

企業法務の補助業務は、 一つひとつが大きな学びとなりました。

私は、今回2回目の挑戦で司法試験に合格することができました。沖縄県宜野座村出身なので、実家ではなく琉球大学の近くで勉強を続けるため、一人暮らしの費用も捻出する必要もあり、リーガルアシスタント制度による経済的支援は、非常に助かりました。また、司法試験受験後も、リスク管理部法務グループで、企業法務をお手伝いさせていただき、組織内で実際に法律を使う仕事を担った経験は、大きな学びとなりました。受験生の私たちを見守ってくださるとともに、企業法務の補助という貴重な機会を与えてくださった沖縄銀行の皆さまには、感謝の気持ちでいっぱいです。



下地 聡子さん

寄付・支援

おきぎんは、サポートします！

「おきぎんふるさと振興基金」による支援

「おきぎんふるさと振興基金」は、地域の将来を担う新たな産業の創出や、伝統文化の継承・発展などに取り組む県民の皆さまの支援に努めています。2015年度は、8先へ総額500万円の助成を行いました(1991年度助成開始からの助成先総数は244先、助成額は1億5,720万円)。



「エコノミクス甲子園 沖縄大会」を共催

2015年12月、認定NPO法人 金融知力普及協会と共催で「第十回エコノミクス甲子園 沖縄大会」を開催しました。同大会では、高校生が金融・経済の知識を競い合い、優勝チームは東京での全国大会に進出しました。当行は今後も継続して、高校生の金融経済教育の普及に努めていきます。



「のあちゃんを救う会」へ寄付金を贈呈

生後まもなく重い心臓病と診断された翁長希羽ちゃん。米国への渡航費用と心臓移植手術には、多額の費用が必要で募金活動を行っていました。当行も、全店の窓口に募金箱を設置し、2016年1月に「のあちゃんを救う会」へ寄付金100万円を贈呈しました。



お知らせ

震災・災害被災地への支援

与那国町の台風被災

「沖縄全体で支援をしたい」という思いから、2015年9月に発生した台風21号の被害を受けた与那国町へ、義援金100万円を贈呈しました。

台湾南部地震

2016年2月に発生した台湾南部地震への支援として、台北駐日経済文化代表処那覇分処を通して、義援金20万円を贈呈しました。

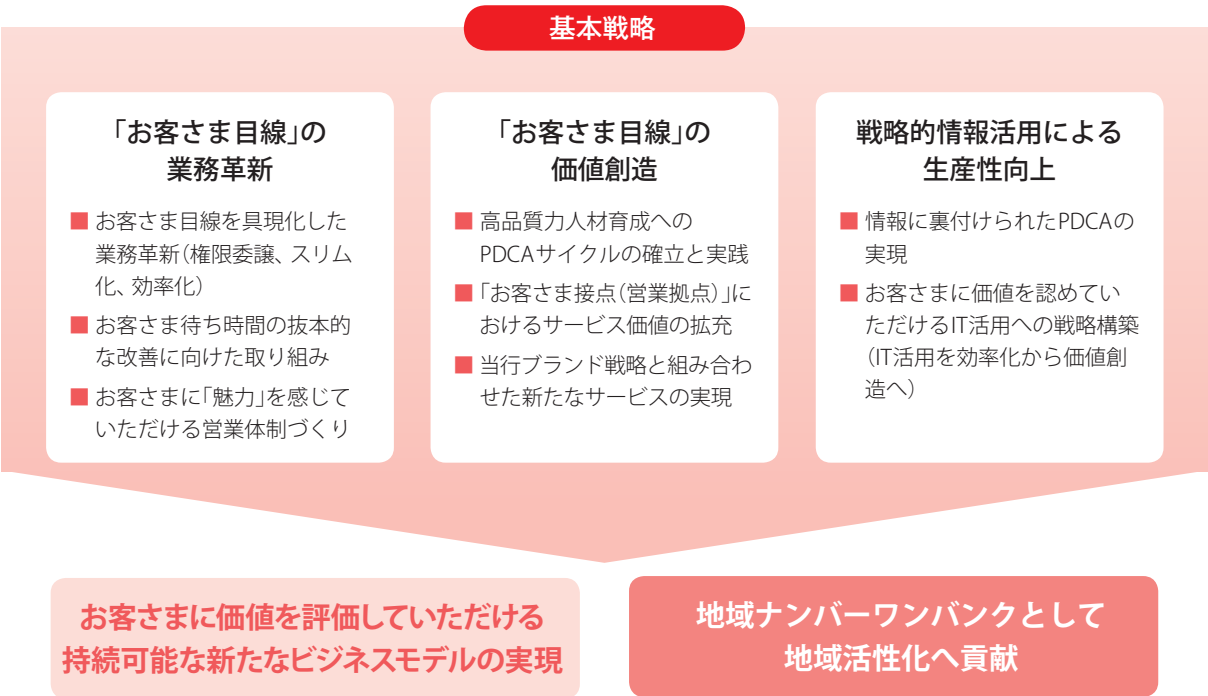
熊本地震

2016年4月に発生した熊本地震への支援として、琉球新報社を通して義援金50万円を贈呈しました。九州の仲間として、一日も早い復興を心より願っています。

中期経営計画 CHANGE FOR VALUE

新たな価値創造の3年 【2015年4月－2018年3月】

2015年4月より新たな中期経営計画がスタートしました。本計画を通して、これまで築き上げてきた「お客さま目線」の姿勢で、新たな時代に向けた「業務革新(チェンジ)」を具現化していきます。そして、その定着を礎にし、「お客さま目線の新たな価値(バリュー)」を創造することで、地域のお客さまとともに成長し続けます。



中期経営計画1年目の実績

中期経営計画の1年目は、お客さまの不満を取り除くことを到達目標として、①権限委譲 ②営業店の業務革新 ③本部機構改革による業務革新の具現化に 取り組みました。経営数値目標も概ね良好に推移しています。

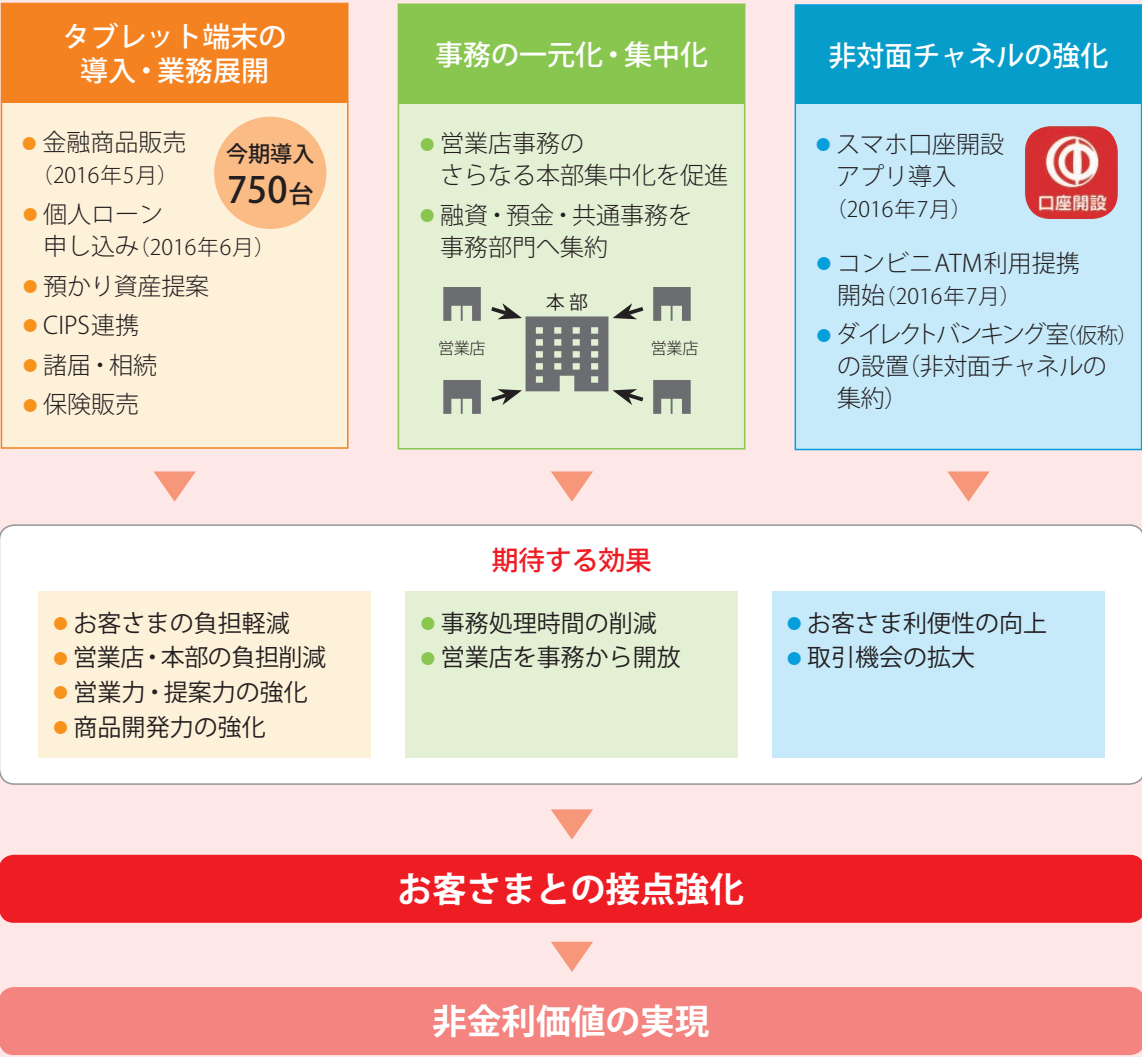
	経営数値	2016年3月期実績	2018年3月期目標
収益性	連結当期純利益 ROE	6.16%	6.0%台
	コア業務純益	99億円	110億円程度
成長性	法人メイン先数	5,868先	7,000先
	取引先数25%増		
健全性	個人メイン先数	291,402先	350,000先
	取引先数25%増		
	開示債権比率	1.66%	2%程度
	自己資本比率	10.88%	11%程度

《 中期経営計画2年目(今年度)の取り組み 》

1 環境認識

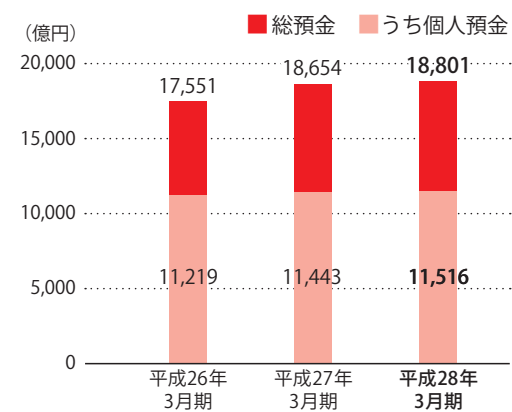
- 人口減少社会の到来を見据えた新たなビジネスモデルの構築
- マイナス金利付き量的・質的金融緩和による資金運用利回りの低下
- 県外金融機関進出による競争環境の激化

2 主な取り組み

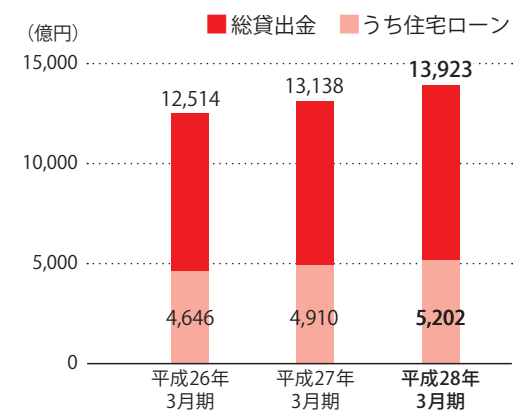


平成28年3月期 業績ハイライト(単体)

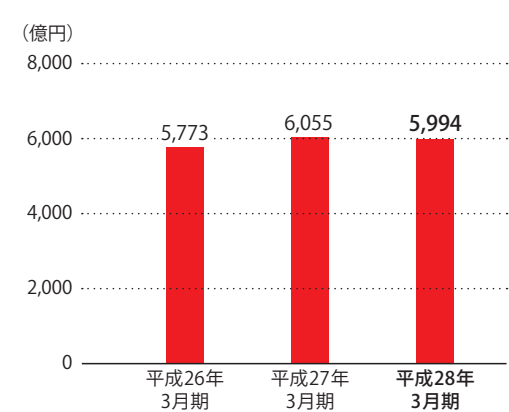
預金



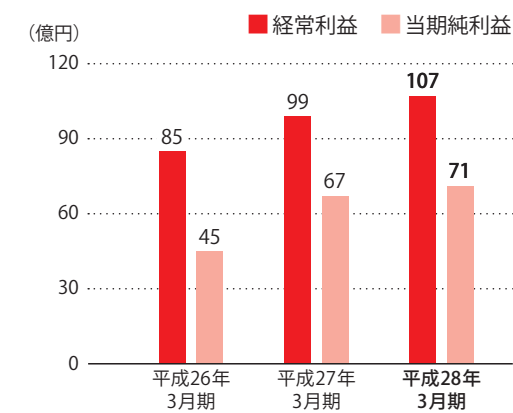
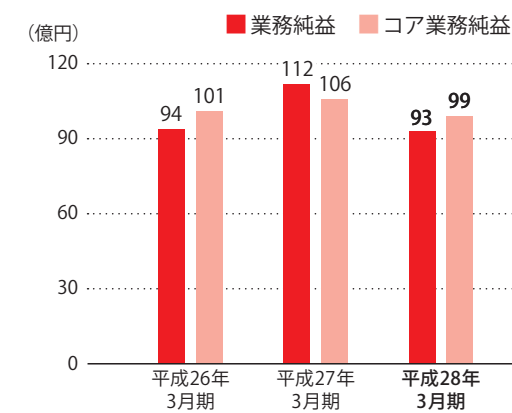
貸出金



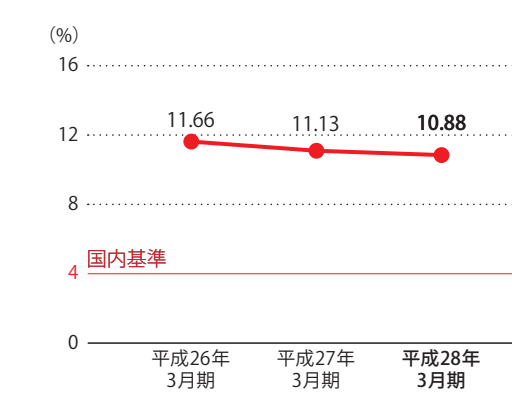
有価証券残高



損益の状況



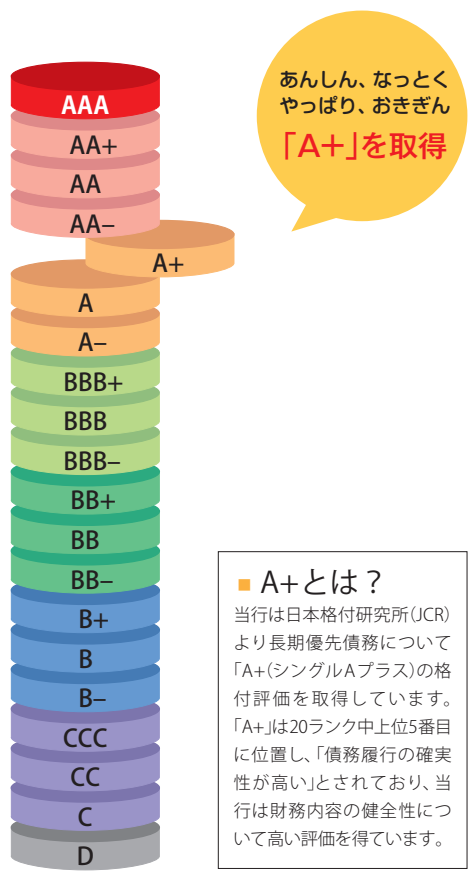
自己資本比率



■ 自己資本比率とは？

総資産に占める自己資本の割合で、銀行の健全性を示す重要な指標の一つであり、比率が高いほど安定した経営といえます。なお、海外に営業拠点を持つ銀行は8%以上(国際基準)、当行のように海外営業拠点をもたない銀行は4%以上(国内基準)であることが求められています。

銀行の財務内容の健全性を評価する「格付」



銀行の概要

(平成28年3月31日現在)

商号	株式会社 沖縄銀行
設立	昭和31年6月21日
創業	昭和31年7月10日
本店所在地	沖縄県那覇市久茂地3丁目10番1号
総資産	2兆935億円
預金残高	1兆8,801億円
貸出金残高	1兆3,923億円
資本金	227億25百万円
自己資本比率	10.88%
従業員数	1,099名
店舗数	65店舗

おきぎんグループ

- 総合リース業
株式会社 おきぎんリース
- クレジットカード業務
株式会社 おきぎんジェーシービー
- 保証業務
おきぎん保証 株式会社
- コンピュータ関連業務
株式会社 おきぎんエス・ピー・オー
- 代行業務
おきぎんビジネスサービス 株式会社
- 債権管理回収業
美ら島債権回収 株式会社
- 金融・経済の調査・研究業務 / 経営相談業務 ほか
株式会社 おきぎん経済研究所

おきぎん イメージキャラクター

平成 28 年
7月1日 金

★☆☆☆☆ リトルツインスターズ ★☆☆☆☆

キキ&ララ

通帳 キャッシュカード 新・登・場

普通預金通帳



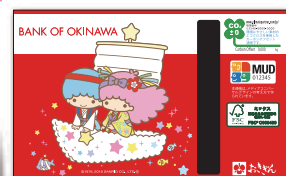
総合口座通帳



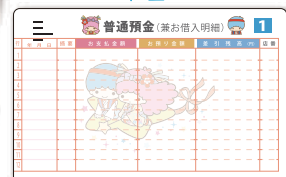
キャッシュカード



中面



中面



※実物の大きさと異なります。

各種口座開設には、取引条件や、お手続きがございます。詳しくは、おきぎん本支店へお問い合わせください。

Little Twin Stars
©1976, 2016 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL No. GS71479



おかげさまで 60 周年
～これからもおきぎんの未来のために～

ピープルズバンク

① 沖縄銀行